



# つばき便り

No. 48-1



日本女子テニス連盟長崎県支部会報

事務局発行(H.18.11.1.)



つばき便り臨時 (48-1)号を発行します

支部長 山口多恵子

10月25・26日に開催された「第21回九州ブロック長崎県予選大会」の結果が代表者の喜びの顔と共に翌日には早速、ホームページに掲載されました。

これまでは、12月初旬に発行するつばき便りでお届けしていたものですが、大会の興奮さめやらぬ時期に、皆様に代表者の生の声をお届けできてよかったと思います。

実は、先月開催された「ソニー生命カップ 第28回大会県予選」を勝ち抜いた長崎県代表選手の声も大会直後に頂いておりました。全国大会もいよいよ間近かとなりました。11月7日(火)~10日(金)の日程で、昭和の森テニスコート(東京都)が会場となります。ここに代表選手の声をお届けいたします。皆さん、応援よろしくお願ひします。

## <代表選手の喜びの声>

No. 1 代表 牟藤市子(佐世保レディース)・島田綾子(南高クラブ)

牟藤さんとは全く面識がなく、お互いのプレースタイルも分からないので、試合が近づくとつれて不安でたまりませんでした。

「ゆっくりのびのびとして行きましょう」という言葉をかけて貰い、私は私のテニスをしていこうと心に決め、プレーに集中していきました。試合を重ねていくうちにお互いの呼吸が合ってきて、牟藤さんの好リードのお陰で優勝することができました。島原は地理的に離れており、まだ小さな子どもがいますので、試合に出るのは大変で、なかなかみなさんとの交流ができませんが、今回の試合を通じていろんな方と試合ができた、話ができたと、私にとってとても良い経験になりました。全面的に私を支えてくれた家族に感謝し、これからはしっかりと練習していきます。

(島田綾子)

No. 2 代表 上熊須久美子(つつじヶ丘)・柏木愛子(レインボー)

”挑戦”全国大会出場への道のりは厳しく、何もかも万全に・・とはいきません。ダブルスはお互い良い時・悪い時があり、落ち込んでいると「頑張るよ!」「大丈夫!」と励まし合い、決して一人の力ではないんだなあ~と思いながら試合を終えた気がします。パートナーがいる。仲間がいる。みんなの気持ちを一つにして行って来ます。そして、何よりも家族の協力なしには出れなかった試合。感謝の気持ちを胸に抱いてチャレンジです。頑張るゾー!!

(柏木愛子)

No. 3 代表 峰洋子(トレディア)・皆川和美(つつじヶ丘)

にわかペアでここまでやれて運が良かったのかな。その運を全国へ向けて、全力で頑張ります。

(峰洋子)

本番前の練習試合の時はなかなかペアがかみあわずで不安でしたが・・・全国ではそれぞれ違った自分たちのプレースタイルを強みにまずは一勝が目標!(皆川和美)